

憧れの絶版車、どう選ぶ？ カスタムのプロに聞く、失敗しない中古車選び。
カスタム & メンテナンスを楽しむ決定版！

ヘリテージ & レジェンズ

Heritage & Legends 11



K-Factory
ZX-25R カスタム
速攻試乗!

2020
NOVEMBER
Vol. 17

ミスターバイクBG
11月号臨時増刊
Heritage&Legends
Vol.17 第35巻第21号
2020年11月1日発行

カスタム視線で斬る!

購入ガイド

Z/ GPZ900R/ GSX1100S/ ZEPHYR/ ZRX SERIES...



- ★ 中古車のメリット&デメリットを改めて考えてみる
- ★ 売り手視線から見る、中古車の要所 レッドモーター
- ★ ハヤブサ/GSX-R/カタナ 大物部分の確認が重要 TG-RUN
- ★ コンプリートを手がける 2店が教える、Zの選び方
まずノーマルに近い車両を探すポイント
エンジン圧縮を確認し、履歴に注目 ACサンクチュアリー
- ★ GPZ900R トラブルから見る経年劣化 SPECエンジンアライク
- ★ ZRX&ZEPHYR1100 換装履歴が大きな見どころ しほん玉

JD-STERドラッグレース第4戦: レポート&全車撮り図鑑
井上ボーリングの新サービス: ICBMシリンダー 永久保証開始
カタナマシレーシング車庫: コロナに負けるな! 新旧カタナが一堂に

こちらもまだまだ快調維持OK!

HONDA CB-F Series

ホンダ・スポーツのアイコン、CB-F!

生産終了から35年超! 走らせ続ける
カスタム&メンテナンス最前線





STRIKER WORKS ストライカーワークス Z H2

現行Z系トップモデルにいち早く対応パーツが登場

TIRE: PIRELLI DIABLO ROSSO II [F]120/70ZR17-[R]190/55ZR17



1 2 3 4 SugomiデザインによるフロントマスクやNISSINラジアルの左右マスターシリンダー、多機能デジタルTFTワンプネルのメーターなど外装まわりはZ H2のノーマル。テールには「STRIKER アルミビレットフェンダーレスキット KAWASAKI Z H2」(2万6000円+税)が装着される。天板とナンバープレートステーをつなぐステーが立体削り出しで、すっきりしたリアビューとカスタムルックを作る。初回限定の緑は完売、黒は販売中



5 6 7 8 スーパーチャージャーを装備の998cc直4エンジンや銅管トリスフレームはZ H2のノーマル。ラジエーター部にはステンレス製でスモークガンメタ仕上げの「STRIKER ラジエーターコアガード KAWASAKI Z H2」(8.3万5000円)を装着。シリンダーサイドには「STRIKER ガードスライダー KAWASAKI Z H2」(5.6=標準仕様、1万3000円+税。ベースもブラックのオールブラックは1万5000円+税。カーボンコンボジット仕様は2万5000円+税)も装着



9 10 11 フロントアクスル両端には「STRIKER アクスルスライダー フロント KAWASAKI Z H2」(1万1000円+税)を装着。純正アクスルシャフトにボルトオン装着。マフラーは「STRIKER "INTER MODEL" RC SLIP-ON OFF-Type B レーシング Kawasaki Z H2」(11=CKブラックは12万5000円+税、チタンソリッド/チタンヒートカラーは各11万5000円+税)。チタンボディ+カーボンエンドで重量1.5kg(ノーマル7.5kg)。車検非対応品



12 13 14 ステップは9月下旬発売予定(取材時点で予約受付中)の「STRIKER スポーツツーリングコンセプト"STC"STEP KIT 6ポジション KAWASAKI Z H2」(12.10万5000円+税)。純正でステップベースを外すと露出部がパイプではないため、ここをカバーするようにフルジョンで設計された(13)。ポジションは後ろ×上に①20×20(mm、以下同)、②20×30、③30×20、④30×30、⑤40×20、⑥40×30の6つ。タンデム側バーも「オリジナルタンデムステップバー"STC"カワサキType1 KAWASAKI」(14.1万7000円+税)に



ラック(セラコート仕上げ)が加わりました」とも鈴木さん。
Z系トップモデルにもカスタムの楽しみを。そう思ったならこの車両は間違いなく参考になるはずだ。

「フェンダーレスは付けるつもりがすっきりしてイメージが変わります。限定で販売した初回ロットの緑は完売するほどで、支持されたと思います。マフラーはインターモデル・チタンスリップオンでレーシングタイプですが、このモデルからこの車両のようなCKブ

クス店長・鈴木さん。
各部スライダーやステップキットは同社定番で、あると嬉しいパーツ。注目したいのはフェンダーレスキットとマフラーか。
「フェンダーレスは付けるつもりがすっきりしてイメージが変わります。限定で販売した初回ロットの緑は完売するほどで、支持されたと思います。マフラーはインターモデル・チタンスリップオンでレーシングタイプですが、このモデルからこの車両のようなCKブ

クス店長・鈴木さん。
そのZ H2にいち早くカスタムパーツをラインナップしたのがカラーズインターナショナル/ストライカーブランド。この車両はそれらを装着したものだ。
「とは言ってもデモ車ではないんです。ストライカーのアフターパーツを作る開発協力車を募ったところ、この車両のオーナーさんが協力してくださって、パーツの開発やフィッティング確認を行ったんです。ルックス的にはデモ車と違っていいかも知れませんが、そういう車両なんです」とストライカーワークスの店長・鈴木さん。

必要そうなパーツをラインナップする
19年秋の東京モーターショーで衝撃デビューを飾り、今春発売されたカワサキネイキッド・Zシリーズのフラッグシップ、Z H2。H2の名が示すように過給(ここでは自社製スーパーチャージャー)を備え、200psの最大出力で240kgの車重を引っ張る。現行Zシリーズが持つSugomiデザインも相まって、垂涎と言え1台となっている。
そのZ H2にいち早くカスタムパーツをラインナップしたのがカラーズインターナショナル/ストライカーブランド。この車両はそれらを装着したものだ。
「とは言ってもデモ車ではないんです。ストライカーのアフターパーツを作る開発協力車を募ったところ、この車両のオーナーさんが協力してくださって、パーツの開発やフィッティング確認を行ったんです。ルックス的にはデモ車と違っていいかも知れませんが、そういう車両なんです」とストライカーワークスの店長・鈴木さん。